
ロリポップ

砂糖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロリポップ

【Nコード】

N4386D

【作者名】

砂糖

【あらすじ】

少女が出会ったのは夏には不釣合いのサンタクロース。ロリポップを舐めながら踊る彼の姿にいつしかあたしは恋をしていた。

1話（前書き）

設定が浮かんだので書いてみました。続きは遅くなるかも知れないです。^^;

1話

あたしはその日とてもブルーだった。

大好きな彼氏には振られ、志望校にはことごとく落ち、おまけにさつき犬の糞まで踏んづけた。

きつとあたしは呪われてる。そんな、少女マンガの主人公のようなことを本気で思い始めてた。

その日はなかなか家に帰れず少し遠回りをした。

あたしの目は自然と幸せそうなカップルと家族ばかり追っていた。

「はあ。やっぱりおとなしく帰るべきだった。」

ため息のような嘆きとともに顔を上げた瞬間あたしの目に飛び込んできたのは、

目の前を走り抜けるサンタクロースだった。

夏に不釣合いのその格好になぜか物語を見つけた気がして、

あたしはとっさに追いかけた。

サンタクロースは人並みをぐいぐい掻き分けと走る。

あたしとサンタの距離はどんどん離されていった。

今思うとあの時なんで追いかけたかなんかわからないけど、

あの時あたしはきつと必死だったと思う。

「どこまで行くのよ。このサンタ。」

そろそろ体力の限界を感じた頃、大ボリュームの音楽が聞こえてきた。

その音楽に気をとられたあたしが次に目にしたのは、

人だかりに囲まれる用にして立っていたあのサンタクロスだった。

「ロリポップ・・・？」

サンタの横にはロリポップと書かれた看板を持つ男性がいた。

音楽がやむと周りから拍手が聞こえてきた。

サンタは頃合を見て一礼すると。隣の男性がラジカセのスイッチを入れた。

次の瞬間あたしの目に飛び込んできたのは、まるで夢の中のようなそんな風景だった。

ポップな音楽・棒付きのキャンディーを舐めながら華麗に踊るサンタ

いつの間にかあたしのさつきまでの不幸なんかちっさい事だったかのように胸弾んでた。

その夢のような時間はあっというままで気が付くとあたしは呆然とそこに立っていた。

曲が終わるとサンタは袋からたくさんのおりポップを出して、子供たちに配っていた。

あたしはその時本当のサンタクロースを見た気がした。

おりポップを配り終わるとサンタはまた風のように走り去った。

2話

「よ・つ・ば。なにボーっとしてんの？」

「ハッ。な、なんでもないよ。」

「はーん。さては恋だな。」

「そ、そんなことないもん！ってゆうか、みっちゃんと別れたし・
・・。」

「あら、ごめんね。じゃー。ブルーなわけだ。」

「それがあながち、そうでもないんだよね。」

あたしの名前は新田^{にった}よつば。

そしてあたしと一緒に話してるのはおかーさんの吉野^{よしのしずか}静。

苗字が違うのはあたしが孤児だったから、

あたしが小学生の頃おかーさんが孤児院から引き取ってくれて、

それからあたしはおかーさんと二人暮らし。

「志望校に落ちたっていつから心配してたのによかったわ。」

「も〜。嫌なこと思い出させないでよ。はあ、やっぱりブルーかも。
友達は華の学生生活かあ。」

あたしもオシャレして雑誌に載ったり、オシャレなカフェでセレブにアフタヌーンティー

飲んだりしたかったなー。」

「アハハハハ！あなたの辞書にもオシャレって言葉があったのね。」

「なによ。あたしだって、女の子なんですけど。」

「男子生徒に平気で鉄拳かましてるくせに。」

「時と場合によっては武力を行使しなきゃいけないのよ。それよりおかーさんごめんね。」

「なにが？」

「学校落ちちゃって、」

「何であんたがあやまんのよ。あんた、自分でお金出して、一生懸命がんばったんだから、

あたしはえらいと思うよ。」

「うん。けどさ、周りがまた噂するでしょ？」

「人は人でしょ？それでもガタガタいつてきたらそんな時は鉄拳で黙らせればいいのよ。」

「ねえ、おかーさん。やっぱりあたしって、おかーさんに似たんだ

「お。よ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4386d/>

ロリポップ

2010年10月28日07時17分発行